

されるものと考えている。

草間議員：区づくり推進費で感染症対策として調達した物品を選挙事務のために使用されないよう調整をお願いしたい。

草間議員：医師会などから感染症対策の物品が足りていないと聞いている。更なる感染症対策が必要な季節となるため、感染症対策として区で購入した物品を、区の三師会に供給できるような体制を整えていただきたい。

【区役所改善推進事業】

長谷川議員：インフルエンザと新型コロナウイルス感染症が同時に拡大した場合の窓口業務の影響について伺いたい。例えば1階フロアのみで全ての窓口業務対応ができるようにするなど、感染症リスクを下げる検討をしているのか伺いたい。

金指総務課長：現時点では検討をしていない。1階で全ての課の手続きができるようになれば、かなり有効な方法ではあるが、庁舎の構造や費用面で大きな課題があるため、市民局と相談をしていきたいと考えている。

長谷川議員：市職員が感染しない方法も考えていく必要があるため、感染症が拡大し危険な状況にある場合、受入体制を縮小していくなど、職員自らも感染しない対策の検討もしていただきたい。

【メイドインつづき推進事業】

斎藤議員：事業を通して、中小企業からコロナに係る相談などがあれば伺いたい。

川島区政推進課長：国、県、経済局等が支援メニューを用意しているので、そういった情報をお伝えしている。また、経済局・IDEC（横浜企業経営支援財団）とともに説明会を開催し、個別の相談会も実施している。個別相談会の中で厳しい状況であるとの話を伺っており、経済局等との間をつなげ、今必要な情報の提供をしっかりと行っていきたいと考えている。

【まちづくり総合調整事業】

望月議員：区民文化センターについて、コロナ禍ではあるが、予定どおりの進捗状況なのか伺いたい。

川島区政推進課長：区民文化センターに係る市有地の売却については、既に完了している。令和5年度の開設に向けて、区民文化センターとボッシュ株式会社の研究棟の設計作業を進めているとこ

ろであると聞いている。区民へ途中経過を情報提供できるように進めていく。

望月議員：途中経過がわかるよう進めて、区民の声が反映するよう努めていただきたい。

草間議員：都筑区には多くの公園・緑道があり、農業も盛んであるため、新しい生活様式に非常に適した都市生活ができる数少ない街のひとつだと考えている。川和町の再開発は進みはじめたが、東山田の再開発は必要であり、新型コロナウイルス感染症対策で予算が厳しい中でも、都筑区の発展、ひいては横浜市の発展を考えていく上で必要なものについては、区から局への要望を引き続きしていただきたい。

中野区長：区内の土地区画整理事業に関して、川和町・川向町については順調に推進している。今後は東山田について、土地区画整理・市街地再開発などを検討していく必要があることから、都市整備局に強く働きかけていきたい。また、コロナ禍で在宅勤務が普及したことにより郊外の戸建て住宅の需要が増加している。そういった視点も踏まえ、都筑区の魅力を経済や住宅の面からも様々な場面でアピールできるよう市長、副市長にも働きかけていく。

【危機管理対策推進事業】

草間議員：ペットを飼っている区民は多くいると思うが、災害時に避難する際のペット対応について伺いたい。

金指総務課長：避難場所におけるペットの保管場所については、拠点となる各学校と一定の場所を調整している。ペットの管理については、所有者に適切に行っていただく。

草間議員：震災時はそのような運用になると思うが、水害時も同様なのか伺いたい。

森田生活衛生課長：水害時にペットとの同行避難ができるよう対応を進めているところであるが、水害は事前にある程度の状況を把握することができるので、ペットを預かっていただける方を決めておき、速やかに預けるといった方法もある。そういった方法も含め、今後周知を図っていく予定である。

草間議員：豪雨の中ペットを屋外に置いておくことはできないと思うので、周知をお願いしたい。

望月議員：避難所開設時の感染症対策は進んでいるのか伺いたい。

金指総務課長：避難所における感染症対策として、人と人との接触を防ぐため、間仕切りやワンタッチテントなどを購入している。その他に消毒用アルコールや非接触型温度計などの物品を避難所に用意できるように準備している。また、避難所開設にあたる職員向けに説明会を実施しており、区本部運営訓練でも訓練内容に加えていきたいと考えている。

望月議員：発災時に実際に対策できるのか見通しを伺いたい。

金指総務課長：去年の台風 19 号のときには避難者が多かった実績もあるため、感染症対策として、自宅の安全性をご確認いただき、自宅で避難できる場合はご自宅で、親戚宅や知人宅あるいはホテルといったプライベート性の高い場所に避難できる場合は、それらの場所に避難していただきたい旨周知している。コロナ禍における避難所開設は初めての状況であるが、万全の体制を整えていきたいと考えている。

望月議員：新型コロナウイルス感染症拡大に伴い事業を見直した結果削減した費用はこれらの物品購入に充てられているのか伺いたい。

金指総務課長：事業を見直した結果削減した費用の一部を感染症対策費用に充てている。

【都筑区新年賀詞交換会について】

望月議員：コロナ禍において、賀詞交換会は実施するのか伺いたい。

金指総務課長：賀詞交換会の実施については、例年と同様の形での開催は中止とし、感染症対策を行った上で小規模開催ができるか否かを実行委員会で検討しているところである。

【新型コロナ感染症対策における福祉保健センターの体制について】

望月議員：コロナ禍における福祉保健センターの人員配置について伺いたい。

林福祉保健センター長：新型コロナウイルス感染症対応として福祉保健課健康づくり係の保健師を中心とする体制で対応しているが、センター内で応援体制をつくり対応を進めている。また臨時的な対応として、会計年度任用職員を雇用し、体制強化を図りながら対応を進めている。

望月議員：今後も長期化が想定される中で、コロナ禍での業務遂行により職員が疲弊することも考えられるが、どのように対応すべきと

	<p>考えているか伺いたい。</p> <p>中野区長：区長会において、新型コロナウイルス感染症対策について、今後どうしていくべきか、保健所機能の中で区役所の役割はどうかなど、常々議論している。各区福祉保健センター長が集まった会議の中で課題を明確にし、今すぐにやるべきものなど健康福祉局や市民局等と意見交換を重ねている。PCR検査一つについても、簡易検査など新たな開発があり、労力の軽減は図られていくと思うが、専門的な分野も含まれるため、政府、県の動向も含めて注視しながら、必要な要望は各区協力して局に確認し、誠実に検討していきたいと考えている。</p> <p>望月議員：今までにない仕事の遂行など大変だと思うが、継続して実施していただきたい。</p>
備 考	